

地域の活力の復活！皆さんの心に残るまつりを！

〈みよしまつり花火等の協賛〉

9月1日(土)開催予定の「第22回みよしまつり」の趣旨にご賛同いただき花火等の協賛に広く住民や事業所の皆さんのご理解・ご協力をお願いします。

花火等の協賛のお願い
 【協賛金】1口1万円から
 ※記念写真集へ会社名又は個人名を掲載します。
 (記念写真集の配布部数は、15,000部です。)
 【協賛方法】
 公民館にある振込依頼書を使用して送金してください。
 (ご連絡いただければ集金に伺えます。)

心に残るまつりを計画
 みよしまつりは、子どもたちの良い思い出となり、住民一人ひとりが生き生きと楽しくふれあえる町になることを願って行われています。
 昨年の東日本大震災の教訓を踏まえて、来場者の安全を確保しつつ、地域に活力が戻るよう工夫を行い、皆さんの心に残るまつりを計画しています。
 【開催日】9月1日(土)
 雨天の場合は9月2日(日)
 【場所】運動公園及び庁舎周辺
 【内容】模擬店、神輿、お囃子、流し踊り、阿波踊り、太鼓、打ち上げ花火等

まつり募金のお願い
 「小額でも花火の協賛をしたい」「少しでも、まつり」のために協力をしたい」という住民の声から「まつり募金」を行います。
 【募金箱の設置場所】
 自治安心課・町商工会窓口
 【設置期間】8月31日(金)まで
 まつり当日は、会場内に募金箱を設置します。

申込み・問い合わせ
 みよしまつり実行委員会事務局
 自治安心課 267・268 または商工会事務局
 ☎(274)1110

※協賛金の詳細は、町内の各公民館にあるチラシをご覧ください。



国民健康保険加入者の皆さんへ

〈ご存知ですか？国民健康保険の現状〉

国保加入者は、近年横這いの状態が続いています。しかし、医療費は高齢化や生活習慣病等により増加傾向にあります。

国民健康保険の現状

国民健康保険制度は、国民皆保険制度の中核として町が運営し、重要な役割を担っています。しかし、高齢化の進展や医療技術の高度化、生活習慣病の増加等により医療費の増加が年々続いている状況です。また、高齢者・無職者・低所得者の加入割合が高いという構造的な問題も抱えています。

町の国保への加入状況は？

■国保加入者等の推移

年度	21	22	23
総人口(人)	37,764	38,180	38,009
増加率(%)	101.1	101.1	99.6
加入者(人) [内65歳以上]	11,870 [4,062]	11,955 [4,115]	11,970 [4,241]
加入率(%) [内65歳以上]	31.4 [34.2]	31.3 [34.4]	31.5 [35.4]

平成23年度末で11,970人

で、総人口に占める割合は31.5%となつています。近年は、加入者数に大きな変化は見られないものの、団塊世代の退職による高齢者世帯の増加や非正規労働者の加入が増加しています。

町の財政状況は？

現在、町の国保財政は、保険収入が減少傾向にあり、町の一般会計からの繰入に頼らざるを得ない状況です。医療費は平成20年度から医療費総額、一人当たりの医療費も増加傾向です。今後も伸び続けると予想される医療費などに対応するため、町では平成13年以来改正していない税率等の見直しを考えていかななくてはならない状況にきています。

県内での保険料は？

国保料の決め方は、医療給付費分(医療分)と後期高齢者支援金分(支援分)と介護納付金分(介護分)から算出。県内市町では、4方式と2方式により保険料を算出しています。当町は2方式により保険料を算出し、他の市町の保険料率

平成24年度国保保険料率等の状況

	2方式				
	三芳町	川越市	坂戸市	毛呂山町	
医療	所得割(%)	6.70	7.35	7.80	6.00
	均等割(円)	13,200	21,800	24,500	35,000
	賦課限度額(万円)	41	49	50	51
支援	所得割(%)	1.60	2.20	1.70	1.60
	均等割(円)	10,800	6,400	4,500	7,500
	賦課限度額(万円)	11	13	13	14
介護	所得割(%)	0.80	1.40	1.40	1.20
	均等割(円)	10,800	9,000	10,000	11,500
	賦課限度額(万円)	7	11	10	12

等と比較すると均等割の合計額は低い状況にあります。また賦課限度額は県内で一番低くなっています。

なお、参考に当町と同じ2方式による課税の一部市町の状況は、右表のとおりです。近隣の富士見市・ふじみ野市については、4方式(所得割・資産割・均等割・平等割+賦課限度額で課税しています。町住民課保険年金係 ☎153

政策研究所「未来創造みよし塾」

〈政策研究所2期目がスタート〉

今年度も、住民と職員の協働による調査研究と政策立案・企画が始まりました。「みどりの保全・活用」「にほんの里100選」「三富新田」再生」「公共交通」の3つを研究します。



政策研究所とは？

政策研究所では、職員と住民から成る研究員とで、協働による調査研究と政策立案・企画を行い、町全体の政策形成力を高めながら、有効な政策提言を行うっていくことを目指しています。

3つの研究テーマ

- ①みどりの保全・活用
 - ②にほんの里100選
 - ③公共交通
- (昨年度からの継続研究)

昨年度の研究報告

昨年度は、次の3つの研究が行われました。2月には研究成果を報告する「最終報告会」を実施しました。

【自治基本条例】「自分たちのまちづくりのための、生きた条例」策定について提言しました。
 【公共交通】「今後どのように町の公共交通を考えていくか」をテーマに、公共交通に関する現状や一定の地域を対象に実施したアンケート調査について報告しました。
 【観光のまちづくり】なぜ三芳町に観光なのか、町の現状や課題、将来について考え、様々な施策の提言を行いました。

研究・提言内容をまとめた報告書は、役場情報資料室、各公民館、ホームページをご覧ください。

☎政策秘書室政策推進係 ☎424



情報はfacebookで発信中

住民とともにすすめる行財政改革

〈三芳町「事業の仕分け」を開催〉

7月7日(土)・8日(日) 時間：午前9時～午後6時 場所：藤久保公民館ホール 入退場自由

町では、住民とともにすすめる行財政改革の一環として、町が実施している事務事業について住民の皆さんの参加のもと、公開の場で外部評価を行う三芳町「事業の仕分け」を開催します。

【当日の流れ】
 ①事業内容の説明➡②質疑・応答➡③評価・判定
 ※結果を参考に、町では今後の事業のあり方、実施方法等について検討を行ったうえで町の方針を決定し、事務事業の改善を図ります。

☎政策秘書室政策推進係 ☎422

時間	7月7日(土)	7月8日(日)
9:10～10:00	地域福祉バス利用助成	子ども医療費支給
10:10～11:00	敬老祝金支給	公立保育所管理運営
11:10～12:00	障がい者住宅支援	学童保育室管理運営
12:10～13:00	歴史民俗資料館管理運営・整備	妊婦健康診査
13:00～14:00	昼休み	
14:00～14:50	図書館資料購入整備	一般廃棄物収集運搬
15:00～15:50	公民館学習講座	ごみ処理施設維持管理
16:00～16:50	小中一貫教育推進	消費生活相談
17:00～17:50	三芳町立学校支援員配置	緑地保全

※進行状況により、予定時間が前後する場合があります。
 ※昨年の概要や詳細は、町ホームページで確認してください。